

活動テーマ

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を合言葉に、
みんなで取り組むエコ・スクール活動

実践事例について

油日小学校がエコ・スクール活動に取り組んで20年以上になった。長いコロナ禍は、多くの行事を見直さざるを得なくなったが、環境学習は、ビオトープを核として家庭・地域・地元企業と連携をより密にし、継続して行うことができた。

学級エコ宣言を核にしたエコ活動、総合的な学習の時間を中心にした自然体験活動、児童会エコ委員が中心になってのイベントができた。

1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、多くの生物が観察できる場になった。年数を重ねることで様々なものに老朽化が見られたが、昨年度に観察机、今年度は防球ネットが改善されている。また、隣接する「親遊の森」の木々も大きく育ち、木の実が拾えて、よい活動場所となっている。また、卒業生が記念植樹をして、よりよい森にしようとしている。

2 活動の実際

(1) 地域と連携した活動

ア 滝区ササユリの里づくり事業との連携

以前からの願いであった、滝区のササユリの里づくり事業との連携を実現することができた。6年生の総合的な学習の時間「油日再発見」の中で、甲賀市の花ササユリを増やす活動があること、バイオの力で培養をすることで、7年はかかるササユリの開花が4年くらいにできること、3世代が繋がって事業を続けておられることを知り、地域の良さを感じるとともに子どもたちも活動に参加することができた。



イ シオノギ製薬株式会社油日植物園との連携

今年度もシオノギ製薬(株)油日植物園の皆さんの協力を得ることができ、「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、薬草園、在来種園を整備することができた。3年生は地域種の薬草である「アイ」を栽培し、9月に朝摘みした生葉を使い、たたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組

んだ。

また6年生は、6月に「ムラサキ」を植え、12月に掘り起こし、油日植物園の職員さんの指導のもと、くすり学習館で紫根染めの体験をした。家庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の布材料とし、自分で染めた布を使って卒業制作としてプレゼントづくりをしている。



ウ 油日・上野生産森林組合との連携

4年生は、やまのこ学習で、地域の生産森林組合の方の協力を得て、学有林の見学、地域の山での間伐の見学、枝打ち・玉切りの体験をした。地域の方から「木を育てるには長い年月がかかること、先祖から受け継がれて守っていること」を聞き、地域の良さを感じる子が多くいた。

エ 甲南高校バイオとかがく系列との連携

3年生の薬草についての学習には、甲南高校の先生を講師として招聘し行っている。身近な薬草を教えていただいたり、薬草ビンゴを楽しんだりした。

オ エコ・スクール支援委員会

エコ・スクール活動を学校だけで終わらせないように家庭と連携した活動として環境フェスティバルがある。本年度は、10月22日(土)に開催した。各学年のPTA学級委員さんの半数にエコ支援委員として登録していただき、その方たちに支援していただき活動をしている。

【環境フェスティバル活動内容と支援、地域連携】

1年…アサガオのつるを使ってのリース作り
(エコ支援委員・保護者)

2年…ひつつきむしを使った絵・虫クイズ
(エコ支援委員・保護者)

3年…ビオトープでの生き物見つけ

(ラーゴ株式会社専門員・保護者)

4年…丸太切り、木切れを使ったクラフト作り

(油日・上野生産森林組合、保護者)

5年…池の微生物観察、ヨシ笛作り

(地域退職教員、オーパル株式会社・保護者)

6年…親子油日岳登山

(保護者、甲賀山岳会)

本年度は保護者と共に、以上の活動内容を多くの地域の方と連携することで行うことができた。

(2) エコ委員会の活動

エコ委員会は、全校にビオトープの自然に楽しんで触れてもらえるようにしたいという思いから屋休みにクイズやゲームを取り入れた観察会やイベントをしようということになった。タイミングを逃さないことを目標に春から秋のビオトープの自然を全校に知らせる活動に取り組んだ。多くの子に参加してもらうため複数日開催にもした。

5/25,26 春の自然で遊ぼう

全校児童数分届いた子どもエコクラブノートにプリントを貼っていく形で、観察会を始めた。今年度は、ビンゴ形式の



カードを作り、ツメクサやエンドウの種類の見分け、くさり作りやメダカやテントウムシなどの生き物を見つける活動をした。

6/16,17 赤ちゃんをみつけよう

クリの木や柿の木の花の後に小さな果実ができていること、ヤゴのように成虫とは形の違う赤ちゃん、バッタのように成虫とほぼ同じに見える赤ちゃんを紹介できた。

7/4~9 生き物クイズラリー インサマー

暑さ指数が高く外での活動が制限されるため、委員会の子もたちが調べて作った生き物クイズを校舎内で行った。

9/8 秋の虫をさがそう

一口にバッタといっても様々な種類がある。昨年度、ビオトープでバッタの仲間では、イナゴ、トノサマバッタ、ショウリヨウバッタやキリギリス、コオロギではエンマコオロギの他にミツカドコオロギが見つかった。本年度もそれらを見つけよう

とカードを作って観察会をした。特徴を教えあいながら虫取りができた。

9/10 秋の虫を見つけよう

秋の七草のキキョウ、オミナエシ、フジバカマを紹介したり、バッタやコオロギを捕まえてオスメスを見分けたりした。

10/20,21 秋あそびをしよう

今年度は、ドングリゴマづくり、松葉相撲、葉っぱかるたの三種類の秋遊びを楽しむことができた。

10/28,31 深まる秋を感じよう

いろいろな種類のどんぐりを見つけたり、紫や赤、黄色の秋のものを見つけたりする活動をした。

11/29 フロッタージュで遊ぼう

落ち葉が一杯のビオトープで、フロッタージュをした。高学年の中には、端々まできれいに写し取ろうと夢中になる子がいた。

9/12~クリの収穫

ビオトープにクリがなると、毎年多くの子がクリ拾いをして楽しんでいる。拾ったクリは職員室に集められ、一年生から順に持ち帰る。今年度はなり方が悪く、なんとか全員がもらうことができたものの、余った分での抽選会はできなかった。

(3) 各学年の取り組み

ア. エコ宣言

5月9日エコ宣言集会が行われた。校長先生のキックオフ宣言と各学級で考えたエコ宣言を発表し、全校で写真を撮った。エコ宣言は、昇降口の掲示板に1年間掲示していつも意識できるようにしている。各学級からは、ビオトープなど自然に関する宣言、ものの使い方や整理整頓に関する宣言が出された。12月の終業式で中間発表としてできたことを発表した。

イ. 生活科・総合的な学習の時間

1年…学校たんけん、しぜんとあそぼう

2年…ビオトープの春夏秋冬

3年…めざせ薬草博士

4年…わたしの森林体験

5年…稲作体験、五・五交流、水環境学習

6年…油日再発見

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp

